

代表質問

次の50年、100年を見据えたまちづくりを



地方創生の中心にあるのは、いつも人である

問 脆弱な財政基盤の克服も必要な本市の、次の50年、100年を見据えた地方創生に対する市長の考えを聞きたい。

答 まちづくりは人づくりからという理念から、「人が育ち、人でにぎわい、人を大切にすのほっとシティおおむた」というまちを目指した将来の都市像の案を導き出した。

この都市像の実現には息の長い取り組みが必要であり、具体的な手段となる4年間の施策を総合計画として示す。

問 市制100周年を迎えるに当たり、イメージキャラクターを作成する取り組みについて聞きたい。

答 イメージキャラクターを検討しており、各種イベントでのPRや広報媒体への掲載など本市の知名度を向上するために大いに活用したい。

男女共同参画によるまちづくり

問 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案が国会で審議されている。地方

創生の眼目である人口減少社会に対応する意味でも地域、職場での女性の参画はこれまで以上に重要な視点である。市長の見解を聞き

たい。

答 男女が対等なパートナーとして責任を分かち合い、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現は、これからのまちづくりを進める上で重要であると考えている。国の動向を踏まえつつ諸施策を推進していきたいと考えている。

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を活用したまちづくり

問 イコモス勧告後の来訪者の状況と課題について聞きたい。

答 宮原坑では来訪者が、昨年5月と比較して5倍から10倍となっている。課題は、駐車場の確保や現地までの案内、ガイドの人材確保である。

今後、市内の関係団体との協力・連携を図り、全市的に来訪者をおもてなしができるように取り組む。



問 情報発信のあり方について聞きたい。

答 ホームページの掲載内容の見直しも随時行う必要がある。4月から地域おこし協力隊を採用し、ホームページのリニューアルとフェイスブック等様々な情報ツールを活用した情報発信に努めている。

文化・芸術を生かしたまちづくり

問 絵本作家や漫画家を多く輩出する本市の特色を生かした文化芸術事業の取り組みを聞きたい。

答 絵本や漫画、アニメなどテーマ別に展示会の開催や若手の漫画家の発掘コンテストやアニメ、イラストをテーマにした公募展などを文化芸術振興プランに盛り込んでおり、計画的に実施したい。

戦後70年「平和の心を育む」取り組みを

問 戦後70年の節目を迎える本年。安全保障の議論をはじめ、平和な世界を築くための努力が改めて問われている。悲惨な戦争を繰り返さないために、戦争体験の伝承者をつくる必要がある。見解を聞きたい。

答 本年で戦後70年、本市が核兵器廃絶平和都市宣言を行って30周年という節目の年である。

これを機会に市民一人一人の平和を願う心を結集し、それを次世代に継承する事業も、できる範囲で努めていく。